

-----6月1日-----

2015年

## ※ 今週のアウトルック (6/1~6/5)

先週は大きくドル高円安が進んだ週となりました。

26日の火曜日にドル円が122円をブレイクすると、ドル高円安の流れは一気に加速し、ドル円は124円台で週末を迎えています。

ユーロ円もこのところの上限レジスタンスとなっている137円近くまで戻して、週末を迎えています。

今週はこの勢いに任せて、もう一段のドル高円安が進むかどうかがカギとなりそうですが、週初の戻り具合と、週末の米国雇用統計の結果を見据えた動きに注目したいところです。

先週ドル円は大きくドル高円安が進み、週末には124円を超えて終了しています。米国マクロ指標の結果による反応というより、ドル買い勢力の強さを印象付けます。

今週はまず心理的なリミットとなる125円の壁を、週初に一気に超えられるかどうか、ポイントとなりそうです。

このところの上昇が急ピッチ過ぎたことと、週末の米国雇用統計の結果後に動きたい、という状況を考慮すると、125円付近で一度利食いに戻される可能性もあるように思います。

ドル円の予想レンジは123円から127円です。

先週ユーロは、ユーロドルは一進一退ですが、ユーロ円はこのところのリミット付近となる、136円台まで戻してきたいです。

今週、この勢いを持続できれば137円を超えて、本格的な上昇トレンド入りすることも期待が持てますが、ギリシャ情勢が気がかりです。

6/5の返済期限を前に、預金封鎖、ユーロ離脱のようなことが起これば、一気にユーロ売りに反転する可能性が高まります。

要人発言などにも神経質な展開となるように思います。

ユーロ円の予想レンジは131円から139円です。

ポンド円は先週、190円超えに一度成功しましたが、再び188円台まで戻され、NY市場終了時には、再び190円間際まで戻して終了しています。

今週は、190円を大きく超えて上昇することも考えられますが、ポンドドルの弱さが気にかかります。

ポンド円の予想レンジは186円から205円です。

今週は、ドル買い円売り勢力がどのあたりをターゲットにしているのか、  
米国雇用統計の結果やギリシャ情勢のサプライズは、この動きにどの程度影響を与えるのか、  
そのあたりに注目していきたいと思います

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。